

困ったときの知恵袋

No. 025

【相談】



どぶ漬けめっき用のタップを、使用するよう指示されました。
「どぶ漬けめっき用のタップ」とは何ですか？
また、「どぶ漬けめっき」とは何ですか？

【回答】

「どぶ漬けめっき」とは、加工現場的に言っている俗語です。
下記の説明にあるように、相当厚いめっき加工のことを言います。
めっき前めねじ加工用で、オーバサイズタップ（+0.3～+0.6 mm程度）の
ことを、通称：どぶ漬けめっき用タップと呼んでいます。

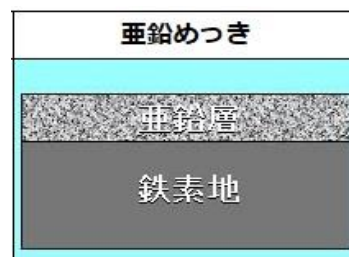


【説明】【どぶ漬けめっきとは】 正式には、「溶融亜鉛めっき」と言います。

高温で溶かした亜鉛に鋼材を浸し、表面に亜鉛皮膜を形成する技術です。
亜鉛めっき加工を施した鋼材は、錆びや腐食を発生しにくいのです。

【溶融亜鉛めっきが使われている所】

温室、室内プール、道路、橋梁、土木、架線金物などに
施され身近なものでは、送電線用の鉄塔などもあります。



ナット等のめねじ加工に「どぶ漬けめっき」する時は、どんなタップを選べばいいの？



まずは、施すめっきの膜厚を確認する必要があります。
めねじにめっきが施されると、ねじ径が小さくなるので、
その分を見込んで、ねじ径を大きくする必要があります。
JIS規格には、右表のようなめっき厚の規格があります。
寸法にもよりますが、どぶ漬けめっき用のタップには、
通常、2級 +0.3mm または、2級 +0.6mm の
オーバサイズタップが、利用されることが多いようです。

めっき厚を考慮しためねじ有効径の寸法許容差
(JIS B 0209-5,1048より) 単位：mm

ねじの呼び径	ピッチ	めねじ有効径 寸法許容差
M10	1.5	+0.510～+0.310
M12	1.75	+0.565～+0.335
M14 M16	2	+0.632～+0.340
M18 M20 M22	2.5	+0.754～+0.350
M24	3	+0.905～+0.360

YAMAWAでは、市場要求が高い+0.1mm、+0.2mm、+0.3mmの3タイプのオーバーサイズが
標準ラインナップされており、縦加工・横加工のいずれにおいても、刃欠けのない安定したねじ立てが可能な
「Z-PRO 亜鉛めっき用ハイブリッドバリュースパイラルタップ HVSP ZP」をおすすめしています。

Z-PRO 亜鉛めっき用ハイブリッド
バリュースパイラルタップ **HVSP ZP**



該当商品のパンフレットは、ここですよ。